

問1 テレビの音に（ ）を取られる。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 気 2. 手 3. 目 4. 耳

問2 「膝を屈する」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 礼儀として、相手の前で膝を屈して挨拶した。 2. 圧倒的な実力差の前に、彼は膝を屈した。 3. 膝を屈して、靴紐を丁寧に結び直した。 4. 疲れて歩けなくなり、道端に膝を屈した。

問3 「一矢を報いる」の意味はどれですか？

1. 相手の攻撃を完全に防ぎ切り、勝利を収める 2. 相手の意見を尊重し、自分の主張をすべて取り下げる 3. 相手に対して、最初の挨拶として贈り物をする 4. 相手からの攻撃に対して、わずかでも反撃や抵抗をする

問4 「侃々諤々」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 侃々諤々の末に、全員が反対意見を引っ込めた。 2. 彼は侃々諤々とした様子で、誰とも話さず黙り込んだ。 3. チームの将来のために、皆で侃々諤々の議論を交わした。 4. 騒がしい居酒屋で、侃々諤々とただ騒いでいるだけだ。

問5 会社が海外にまで事業の（ ）を広げている。（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 手 2. 目 3. 足 4. 耳

問6 「手綱を緩める」の意味はどれですか？

1. 準備していた計画を中止し、状況を白紙に戻す 2. 緊張していた気持ちを解いて、休息をとる 3. 相手との対立を避け、妥協案を受け入れる 4. 厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする

問7 「一泡吹かせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 一泡吹かせるほど、彼は驚いて目を丸くした。 2. 格上の相手に作戦を仕掛け、一泡吹かせてやった。 3. 石鹸で一泡吹かせるように、よく手を洗った。 4. 一泡吹かせるために、冷たい水を相手にかけた。

問8 「威勢がいい」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 威勢がいいから、もっと静かに歩いてください。 2. 威勢がいいので、すぐに病気になる。 3. 祭りの掛け声が響き、威勢がいい。 4. 威勢がいいエンジン音が、遠くから聞こえる。

問9 「花を添える」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 式典に著名人が出席し、会場に見事に花を添えた。 2. 花を添えるために、庭にたくさん種のまいた。 3. 花を添えることで、枯れた植物を復活させた。 4. 料理の皿に、彩りとして本物の花を添えた。

問10 「逆鱗に触れる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 魚の逆鱗に触れると、鋭いトゲが刺さって痛い。 2. 彼は逆鱗に触れるほど、とても穏やかな性格だ。 3. 会議で社長の逆鱗に触れるような発言をしてしまった。 4. 逆鱗に触れることで、ようやく自分の間違いに気づいた。

問11 「背筋が寒い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. マフラーを忘れてしまったので、背筋が寒くてたまらない。 2. 夜道で誰かにつけられている気がして、背筋が寒くなった。 3. エアコンの風が直接当たって、背筋が寒いので消してほしい。 4. 薄着で外に出たので、冷たい風に吹かれて背筋が寒い。

問12 「身を引く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 狭い通路で通行人のために、壁際まで身を引いた。 2. 綱引き大会で、チーム全員が力を合わせて身を引いた。 3. 彼は重い荷物を運ぶために、ロープを使って身を引いた。 4. 若手にチャンスを与えるため、ベテランの彼は身を引く決意をした。

問13 「舌を出す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 熱いスープを飲んで舌を出した。 2. 健康診断のために医者に舌を出した。 3. うっかりミスをして、思わず舌を出した。 4. 彼は怒って相手に舌を出して威嚇した。

問14 「血道を上げる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 血道を上げて血液検査の結果を待つ。 2. 激しい運動で血道を上げてしまった。 3. 血道を上げて血管を強く鍛えた。 4. 彼は新しい趣味に血道を上げている。

問15 「気を利かす」の意味はどれですか？

1. 相手を喜ばせるために、面白い冗談を言うこと 2. 相手の気持ちやその場の状況を察して、気の利いた行動をとること 3. 物事の細部にまで注意を払って処理すること 4. 自分の利益になるように、うまく立ち回ること



慣用句(上級)プリント11 答え合わせ・解説

問1 答え 1 気

「気を取られる」の「気」の部分が入ります。意味は「他のことに心を奪われて、本来すべきことに集中できなくなること」です。

問2 答え 2 圧倒的な実力差の前に、彼は膝を屈した。

「膝を屈する」の正しい使い方は「圧倒的な実力差の前に、彼は膝を屈した。」です。意味は「相手に負けを認めて従うこと」です。

問3 答え 4 相手からの攻撃に対して、わずかでも反撃や抵抗をする

「一矢を報いる」は「相手からの攻撃に対して、わずかでも反撃や抵抗をする」という意味です。

問4 答え 3 チームの将来のために、皆で侃々諤々の議論を交わした。

「侃々諤々」の正しい使い方は「チームの将来のために、皆で侃々諤々の議論を交わした。」です。意味は「正しいと思うことを堂々と主張して議論するさま」です。

問5 答え 1 手

「手を広げる」の「手」の部分が入ります。意味は「事業や活動の範囲を大きくする」です。

問6 答え 4 厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする

「手綱を緩める」は「厳しく管理していたものを、少し放任して自由にする」という意味です。

問7 答え 2 格上の相手に作戦を仕掛け、一泡吹かせてやった。

「一泡吹かせる」の正しい使い方は「格上の相手に作戦を仕掛け、一泡吹かせてやった。」です。意味は「相手を驚かせたり、慌てさせたりして、ぎゃふんと言わせる」です。

問8 答え 3 祭りの掛け声が響き、威勢がいい。

「威勢がいい」の正しい使い方は「祭りの掛け声が響き、威勢がいい。」です。意味は「元気で活気があり、勢いが盛んである」です。

問9 答え 1 式典に著名人が出席し、会場に見事に花を添えた。

「花を添える」は、「華やかさや趣を加えて、より一層引き立てる」という意味の慣用句です。実際に本物の花を添えることではなく、行事や集まりをより華やかにするときに使います。

問10 答え 3 会議で社長の逆鱗に触れるような発言をしてしまった。

「逆鱗に触れる」の正しい使い方は「会議で社長の逆鱗に触れるような発言をしてしまった。」です。意味は「目上の人を激しく怒らせる」です。

問11 答え 2 夜道で誰かにつけられている気がして、背筋が寒くなった。

「背筋（せすじ）が寒い」の正しい使い方は「夜道で誰かにつけられている気がして、背筋が寒くなった。」です。意味は、恐ろしさや不吉な予感がしてゾッとする様子を表します。

問12 答え 4 若手にチャンスを与えるため、ベテランの彼は身を引く決意をした。

「身を引く」の正しい使い方は「若手にチャンスを与えるため、ベテランの彼は身を引く決意をした。」です。意味は「地位や立場から退く、または関係を断つ」です。

問13 答え 3 うっかりミスをして、思わず舌を出した。

「舌を出す」は、かげであざ笑ったり、失敗したことをはづかしがったりするときにするしぐさ（慣用句）です。うっかりミスをしたときに「しまった」と思って舌を出す場面などで使います。

問14 答え 4 彼は新しい趣味に血道を上げている。

「血道を上げる」の正しい使い方は「彼は新しい趣味に血道を上げている。」です。意味は「ある物事に夢中になり、他のことが手につかなくなること」です。

問15 答え 2 相手の気持ちやその場の状況を察して、気の利いた行動をとること

「気を利かす」は「相手の気持ちやその場の状況を察して、気の利いた行動をとること」という意味です。